

# 山行報告書

京都田辺山友会

報告者

山口

山名	岩木山・八甲田山		山行名	個人山行
ルート	16日 岩木山 8合目—山頂—8合目—嶽温泉 17日 八甲田山 山麓駅—田茂菴湿原—赤倉山—八甲田山—毛無岱—酸ヶ湯温泉			
山行日	8月16日～8月19日		天候	晴 曇り
参加者	CL 山口 SL 中島 男子 佐坂 鈴木 女子 上杉 河野 徳田 玉井 山田 合計 9名			

## 山田 禎子さん

日本百名山 完登  
おめでとうございます。



### コースタイム

地名		時:分	地名		時:分
上野駅 新青森駅	発	7:42	嶽温泉 八甲田 麓駅	発	8:20
	着	11:00		着	9:30
新青森駅 岩木山八合目P	発	11:10	" 八甲田 頂上駅	発	10:20
	着	13:10		着	10:40
" 岩木山 山頂	発	13:15	赤倉岳 "	着	12:00
	着	14:30		発	12:30
" 岩木山八合目	発	15:00	八甲田 頂上	着	
	着	16:10		発	13:40
" 嶽温泉	発	16:15	酸ヶ湯温泉	着	14:25
	着	19:00			

### 山行報告

日本百名山完登者は山友会では山田さんが8番目になります。今年山友会創立35周年に成り、創立時からの会員である山田さんには山友会35周年の記念の年に日本百名山完登を達成されて特に感慨一入と思います。

15日

12時50分京都発のバスで東京へ、御殿場付近より交通渋滞となり到着が2時間遅れ、青森行夜行バスに間に合わなくなり、新宿西口駅前のホテルを探して泊まる羽目になりました。

16日

5時半にみどりの窓口が開くのを待って乗車券を求めましたが1便の6時20分は満席で1時間後の7時20分に乗車して新青森駅には11時に着きました。予定より2時間遅れとなりました。

予約していたタクシーで岩木山8合目には13時に着きました。

登りはコースタイム通り登りましたので、嶽温泉には17時～17時30分に着く予定でした。下山道はぬかるんでいて粘土質の登山道で滑りやすくて思った以上に下山に時間が掛りました。何人も転びましたが、Tさんが転倒して手首を骨折し、応急処置をして下山しました。幸い自力で歩けたので慎重に下山しましたが、暗くなりヘッドランプを点けての下山は大変でした。佐坂さん、中島さんが先に下り救急車の手配をして呉れましたので、全員が下山した19時には救急車が到着していました。救急病院で処置する事が出来て安心しました。

17日

嶽温泉を8時20分に出発して八甲田麓駅には9時50分に到着しました。10時20分のロープウェイで山頂公園駅に着き、田茂菴湿原遊歩道を歩き赤倉岳に登りました。此処で昼食にして目的地の大岳(八甲田山)に向かいました。避難小屋への下りの稜線は風速20m以上の強風で、ストックで身体を確保しながら歩きました。避難小屋で小休止して最後の登り大岳を目指しました。登りは幸いにも強風にも当たらず無事に山頂に着きました。山田さん日本百名山完登です。





「おめでとう」ひとりひとり握手を交わして感激の様  
佐坂さんが担ぎ上げて呉れたシャンパンでの乾杯のセ  
モニーは頂上では風が強くて中止し、記念撮影をして  
早々と下山しました。

下山道は上毛無岱から下毛無岱の地塘の木道を歩きま  
たが、木道は乾いていて足元を気にしなくて歩きやす  
酸ヶ湯温泉に到着の直前に雨が降り出しましたが、幸い  
雨にも会わず 16 時 25 分に到着しました。

昨日と違って早く旅館に着く事が出来たので、有名な  
千人風呂に浸かり、宴会では頂上で出来なかった百名山  
完登のお祝いをシャンパンで乾杯しました。

18 日

今日一日はのんびりと観光です。8時にタクシーで宿  
を出発して奥入瀬溪谷へ、水流が多くて清流も川底まで透き通っていないのは残念！ 数多くの  
滝を見ながらの散策、激しい水量の魚留の滝で奥入瀬の散策は終わり十和田湖に向いました。

十和田湖展望台で昼食にして鈴木さんが是非見たいと所望していた乙女の像を見に。  
高村光太郎が 50 年前に作られた乙女の像は現在のすらっとした女性と違って逞しい女性像だ。  
八甲田雪中行軍遭難記念像(後藤伍長像)を見てから資料館見学して最後の観光、三内丸山遺跡を  
見学しました。縄文時代の前期～中期(5,500～4,000 年前)の大規模な集落跡です。直径 1m の栗  
の木をこの時代にどの様にして建てたのか？石の斧で木を切るのも大変な労力と時間が掛か  
ったのでは？どの様にして現場に運んだのか？想像するだけでもロマンが有る。

出発までの 2 時間を新青森駅前の「日本海庄屋」で最後の宴会で盛り上がりました。

山田さんの日本百名山完登の登山と東北の旅は終わりました。

20 時 30 分新青森駅発夜行バスにて新宿西口駅で乗り継ぎ、8 時 30 発のバスで京都に 17 時 10 分  
に無事に帰って来ました。

色んなアクシデントもありましたが、その都度現地での手配など佐坂さんには大変御世話に成り  
ました。同行の皆さん有り難う御座いました。

ひやりハット

T さんが岩木山からの下山道で転倒して手首骨折し現地病院で処置。

## 百名山最後の山行

達成者

山田禎子

お天気を心配していましたが、晴れ男 2 人が参加しているから大丈夫と云われて少しはホットす  
る。 京都から高速バスに乗り東京へ・・・。 渋滞、交通事故と重なり予定より時間が遅れたの  
で新宿で一泊することになった。 上野から東北新幹線に乗り、新青森へ。 岩木山は 8 合目まで  
6.9 あるつづら折りのカーブを走り  
抜け 8 合目の駐車場へ。 それから  
登り始める。 山頂は展望も良く白  
神山地、八甲田山と眺めも良かった。  
八甲田山はロープウェイに乗り湿原  
には草紅葉が素晴らしい景色でした。  
赤倉山に登った時位から強風にあお  
られ体もふらつきながらの下りです  
た。 大岳避難小屋へ。 そこから  
八甲田大岳へ・・・。 先頭の山口  
さんが私に一番前にと声を掛けて頂  
いてはやる気持ちを抑えながら一歩  
一歩と頂上へ。 嬉しかった最後の  
山へ登れて「バンザイ」



皆さま一人一人と握手をして記念写真を撮ってもらいました。強風の為感動する暇も無く直ぐに下山へ。下毛無岱と広大な湿原、木道を歩き 醒ヶ湯温泉へ下山するその頃から雨が降り始めて私たちは幸運でした。皆様のお蔭で完登出来、心から感謝します。有難うございます。これからも体の続く限り山へ登りたいと思いますので 宜しくお願いします。(山田禎子)

#### 参加者の感想文

山田さん 日本百名山 完登記念登山 山行  
(八甲田山, 岩木山)

百名山完登おめでとうございます。田辺山友会にも完登された人が多くおられますが、私にはできない、その意欲と実行力に感心しています。

今後も、新たな目標をもってがんばってください。事故はありましたが、雨には降られず登れて、完登祝いも出来て良かったですね。(中島貞夫)



#### 乙女の像も祝福

天気にも恵まれ、いい山行が出来ました。途中事故が生じたことは残念ですが「山ではありうるもの」との想定範囲で済んだことはラッキーと思います。



八甲田の風もきつかったのですが日頃の鍛錬の賜物。さすがだと思いました。

奥入瀬はのんびりと楽しむには観光人が多いのと傍の車道を走る車に少し興ざめで、明け方早々に行けば別の気持ちが味わえたのかな？

帰路、中学生のころから一度は目にしたいと思っていた十和田湖の光太郎の乙女の像に会えた感動は言葉に言い表せないので割愛。また縄文時代の集落跡、三内丸山遺跡が見学できて本当にうれしかった。誘っていただいた山田さん、ありがとうございました。

(鈴木正範)

#### 風に立ち向かい達成

9月17日 いよいよ今日は山行メインの八甲田山系最高峰の大岳1585mを目指す。ロープウェイで山頂公園駅まで上がる。風速は13mを示していた。時々陽がさす曇り空、雨が降らなければと願いながら出発。赤倉岳に向かう頃から風が強くなりよよろと大岳、もう少しで頂上と言うときトップの山口さんが山田さんにトップを譲られた。強風と360度のガスの中100座目を完登された山田さんは握手、握手、握手。

綿密な計画のもと 参加させて頂いて皆様有難うございました。(上杉郁子)



### 夢の八甲田 高校時代の思い出と共に

もう20数年前になりますが、新田次郎さんの八甲田山の本を読みました。すごい山だと思い一度は登ってみたいとかすかに夢のように思っておりました。山田さんの百座目山行と聞き飛びつきました。長距離バスのしんどさも顧みず、そして高校卒業記念に友と二人で十和田湖に行ったことを思い出し「乙女の像」との再会を楽しみに参加しました。

岩木山、八甲田山とそれぞれに私には厳しい山でしたがお天気もよく良い思い出になりました。9人の方々の助けを受けながら楽しい5日間の旅でした。

山田さん 百名山完登おめでとうございます。(河野典子)



山田さんの百名山完登の「八甲田山」に御一緒させていただきました。

岩木山は津軽富士と呼ばれすそ野が広がりとても美しい山です。八合目のロープウェイ頂上駅から嶽温泉への下りは滑らないよう注意していても「スート、ツルン、ドタ」と止まらなく全員が滑ったと思います。(東北の山は粘土が多くどの山も滑りやすいとの事です。)

八甲田山もとても綺麗な山系です。尾根歩きは風が強く飛ばされないように足を踏ん張りますが体重の重い私でも「トット」と強風で身体が流されてしまいます。大岳での記念撮影は横断幕が飛ばされないように全員しっかりと持って「ニコリ」(^\_^)v

「山田禎子さん百名山完登おめでとうございます。」



いろいろとハプニングもありましたが、思い出に残る山行になりました。

皆様有難うございました。(徳田幸子)

バスの遅れで、予定より遅れての出発となりましたが、天候に恵まれ、津軽富士とも呼ばれる雄大な岩木山を八合目から登りました。リフト場からの下りは、足元が悪くてヒヤリハット、迷惑をおかけしました。

夜は山田さん百名山達成のお祝いをし、皆で盛り上がりました。最終日の一日は、奥入瀬、乙女の像（変わりなく、豊満な肉体でした）等々観光で楽しい時間を過ごせ、今回青森の方々のやさしさにふれることが出来ました。山行を計画、手配と色々大変なことが多かったと思いますが、大変お世話になりました。又参加者の皆様にもお世話になりありがとうございました。（玉井美智子）



記憶が正しければ99座目は平ヶ岳かとおもいます。 昨年度「山行届」を受理する役割で平ヶ岳の山行届を受け取った時に山田さんに電話し、「残る百座目は八甲田山です」と聞き 「八甲田山であれば以前、登ったこともあり是非お世話させて頂きたい」と申し出ました。 事後、山田さんの声掛けで計8名が同行することになりました。 2回程度の打ち合わせを行い 日本百名山完登山行に参加させて頂きました。 CLに百名山既達成者の山口さん、SLに堀尾さんの百名山完登山行を主導された中島さんの両先輩を独断と偏見で決めさせて頂き、又青森であれば奥入瀬溪谷も散策したいとの要請のあった鈴木さんに奥入瀬担当をお願いしました。 女性人は山田さんの仲よし仲間。

青森に到着するまではハプニングもありましたが、どうにか新青森駅で予約していたタクシー会社の運転手さんの出迎えを受け「完登山行開始」となりました。 天気に関しては晴れ男と自他共に認める山口さんも一緒なので大安心でした。 初日の岩木山を終えいよいよ百座目の「八甲田山」を目指しました。 天気もそれなりに良かったのですが、大岳山頂付近では強風に煽られました。 頂上で山田さんと参加者一人一人が祝福の握手。 「やったね 山田さん。 おめでとう!!!」 私たちの仲間です。 末広がり「八」人目の達成者です。 入会時からの思い出話を聞かせて頂き「本当に山を愛している人なんだな」とつくづく思いました。 もう一度「山田さん 百名山完登おめでとうございます。 そして同行させて頂いて有難うございました。（佐坂茂美）



百名山達成者同士の握手

